

## 奈良県立病院機構 平成28年度上半期実績

### (総合リハビリテーションセンター)

(単位:百万円)

	H28予算	H28上半期実績		
		執行額(4~9月)	前年同期(H27.4~9)	前年同期比
医業収益	1,692	814	805	9
入院収益	1,181	574	571	3
外来収益	452	217	225	▲ 8
医業費用	1,908	974	909	66
給与費	1,286	661	583	78
材料費	228	124	118	6
経費	321	151	170	▲ 19
減価償却費	64	37	36	1
医業収支	▲ 216	▲ 160	▲ 104	▲ 56
県運営費負担金	123	61	48	13
その他の収益	18	5	5	0
経常収益計	1,833	880	858	22
償還利息計	2	0	0	0
その他の費用	5	0	0	0
経常費用計	1,915	974	909	66
経常利益・損失	▲ 82	▲ 94	▲ 51	▲ 43
臨時利益・損失	▲ 15	▲ 7	▲ 10	3
収益計	1,833	880	858	23
支出計	1,930	981	918	63
当期純損失	▲ 97	▲ 101	▲ 61	▲ 41

#### 【前年同期との比較・現状認識・課題】

- ・医業収益は9百万円増加、医業費用は6千6百万円増加し、医業収支では5千6百万円の収支悪化。
- ・経常利益・損失も、4千3百万円の悪化
- ・医業収益は9百万円の増加にとどまっているが、診療実績ベースでは14百万円増加している(H27年4月に前々年度の返戻再提出があるため)
- ・給与費は、職員の増(6人、26百万円)、昨年度の人勸(6百万円)等や、共済の標準報酬制への変更等による法定福利費の増加で7千8百万円増加。
- ・医業収益に占める材料比率も高くなっているが(薬品:⑳10.76%→㉑11.00%、診療材料:㉒4.00%→㉓4.07%)、これは手術件数の増(㉔95件→㉕108件)によるもの。
- ・経費の減少は、昨年度の大規模修繕がなくなったことによる。(CT管球交換:11百万円、MR部品交換:5百万円)
- ・予算規模が小さく、経費削減にも限界があることから、引き続き、リハビリの充実、手術の強化等、収益確保を進めることが必要。現状では設備面の制約があることから、リハビリ棟の増築を検討